

研究協力のお願ひ

この度、本院において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学附属病院

集中治療部

記

研究課題名：レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた集中治療後症候群の発症予測因子の検討

研究の意義：例えば、「●●の生活習慣があった人は○○疾病に罹患しやすく、集中治療室に入室する。高齢になると◆◆の機能が低下し、要介護状態となり、在宅医療を受ける。そして、もともとの『●●生活習慣』を改善するよう重点的に指導することで、医療費や介護費の適正化、さらには国民のQOL向上につながる。」などの研究成果が出ることを期待されます。

研究の目的：厚生労働省のレセプト情報・特定健診等情報データベースを用いて集中治療後症候群の発症予測因子の検討をします。

研究の対象：NDB のデータ上、特定集中治療室管理料加算を受け、敗血症（重症な細菌感染）の病名がついている患者様。

研究の方法：匿名化されたレセプト情報・特定健診等情報データベースのデータ取得を厚生労働省に申請し、使用します。本院の患者様のデータは全く使いません。データは、大阪医科大学集中治療部のパソコンに2024年1月7日まで保管します。保管責任者は、集中治療部下山雄一郎です。

研究期間：研究実施許可日～2024年1月7日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：本研究では匿名化された、連結不可能なデータを用いますが、被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行

い、論文投稿や学会発表等では、個人情報特定されないようにいたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

対応者：集中治療部 下山 雄一郎

連絡先：院内 PHS 6480

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

※本研究にて取得しました試料・情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者（門野紀子）が利用いたします。

研究者名：

研究責任者：集中治療部 部長 梅垣 修

主任研究者：集中治療部 助教 下山 雄一郎

問い合わせ：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学附属病院

集中治療部

担当：下山 雄一郎

TEL 072-683-1221(代表) 内線 6480